



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とてひの かふち

《学校だより》 第9号

令和3年9月1日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 北村和裕

夏休みの間はひっそりと寂しそうにしていた校舎が、子ども達の姿を見て元気を取り戻したように思います。今年の夏休みは、オリンピックやパラリンピックが日本で開催されたため、テレビを観ながら一生懸命にプレーをする選手達に声援を送った子達もいることでしょう。その一方で、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がり、神奈川県でも8月2日から8月31日まで緊急事態宣言が発出され、さらに、9月12日まで延長されました。湯河原町においても感染者数が増加していき、特に家庭内感染、子ども達の感染が増え、今後も十分に警戒していかなければなりません。

そのため、学校は8月30、31日を臨時休校として本日からスタートさせました。そして、緊急事態宣言中の10日までは午前中短縮授業という措置をとりました。子ども達が集まる学校に通わせることに對して不安に思うご家庭もあるかと思いますが、学校では感染症予防対策をこれまで以上に行い、感染予防と学びの継続を両立させるよう努めていきます。

緊急事態宣言中の感染症予防対策

8月27日(金)に、校内で感染症対策委員会を開いて緊急事態宣言中(9月12日まで)の対応策を検討し、全職員で共通理解しました。主なものをお伝えします。

学校では・・・

- 1 手洗い・マスク着用の徹底
特に、マスクについては、給食の時以外は外さない。
リコーダーや鍵盤ハーモニカ、調理実習、体育の運動などマスクを外して行う活動は、この期間は実施しない。
休み時間もマスクを着用したまま静かに室内で過ごす。
- 2 換気は常時
教室の窓やドアは2カ所以上開ける。廊下の窓は1日中開ける。教室の隣の学習室のエアコンはつけたままにして休み時間等に過ごすことができるようにする。
- 3 密を避ける
朝、昇降口が開くまでや手洗いの時など並んで待つ際に距離を開ける。昇降口が混み合わないよう、登校時は間隔を開けて順番に入っていく。下校時に教室を出る時は時間差を設ける。
- 4 給食
給食当番を行うのは3年生以上で、当番は学校から配付する不織布マスクを着ける。1・2年生の配膳は職員が行う。

ご家庭でも・・・

- ①体調管理を
毎朝の検温とともに健康観察カードの記入をし、お子さんの体調管理をお願いします。
- ②出席停止を
お子さんや同居するご家族に発熱など風邪症状のある場合、登校を控えてください。
- ③学校に連絡を
お子さんまたは同居者が感染した場合やPCR検査を受ける場合、速やかに学校にご連絡ください。

人への優しさや思いやりを
コロナは誰もが感染する可能性があります。感染者を責めるのではなく、人への優しさや思いやりをもってこの難局をみんなで乗り越えていきましょう。

心がほかほかになる出来事

何を撮ろうかな

夏休み前に、3人の2年生が校長室に「写真を撮らせてください」と言って入ってきました。夏休みにタブレットで写真を撮るという宿題が出ていて、その練習をしているということでした。何を撮ろうかと部屋の中を見ていましたが、その中の1人が「そうだ。校長先生の笑顔を撮ろう。撮ってもいいですか」と言いました。私は力強くなずき、とびっきりの笑顔で撮影してもらいました。

*これからも、ほかほかな心が溢れる子ども達の姿を楽しみにしています。

素早く的確な行動

明日から夏休みになる7月20日の下校時、外で子ども達を見送っていました。帰って行ったはずの6年生が戻ってきて「1年生が転んで怪我をしています」と知らせてくれました。駆けつけてみると、五所神社の前で心配そうにしている子達の輪の中にその1年生の子がいました。幸いにも大きな怪我ではありませんでしたが、とりあえず学校に戻って手当をしてもらうことにしました。学校に向かおうとすると、今度は先ほどとは別の6年生と養護教諭の姿が見えました。養護教諭を呼びに行ってくれたのです。何をすべきかをとっさに判断し行動する6年生のたくましさと思いやりに拍手を送ります。

(その他、子どもたちの様子は学校ホームページの「ゆがわら小だより」に掲載中)

<http://www4.airnet.ne.jp/yugawara/>